

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【公開番号】特開2013-205961(P2013-205961A)

【公開日】平成25年10月7日 (2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2012-72059(P2012-72059)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/00 W

G 0 6 F 3/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月28日 (2014.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 0 】

データ転送が実行中でない場合、またはステップ S 1 3 の処理の後、ステップ S 1 4 の処理が行われる。ステップ S 1 4 の処理では、応答部 2 5 b は、転送情報と切り替え部 2 5 c からの信号をもとに、スレーブ 2 2 - 1 ~ 2 2 - n が低消費電力状態であるときに、マスタ 2 1 - 1 ~ 2 1 - m の何れかから転送命令が発行されたか否かを判定する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 5 】

応答部 2 5 b には、解析部 2 5 a で解析され、記憶部 2 5 d に格納された転送情報と、切り替え部 2 5 c から、スレーブが低消費電力状態になったことを示す信号 S E L と、クロック信号 H C L K が入力される。また、応答部 2 5 b は、信号 H R E A D Y , H R E S P , H R D A T A を出力する。これらは、スレーブ側から出力されるものと同じ種類の信号である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 0 】

解析部 2 5 a には、マスタ側からの命令（どのような転送を行うかなどを示す命令）と、動作クロックを生成する図示しない回路部からクロック信号 P C L K が入力される。

応答部 2 5 b には、解析部 2 5 a で解析され、記憶部 2 5 d に格納された転送情報と、切り替え部 2 5 c から、スレーブが低消費電力状態になったことを示す信号 S E L と、クロック信号 P C L K が入力される。また、応答部 2 5 b は、信号 P R E A D Y , P S L V E R R , P R D A T A を出力する。これらは、スレーブ側から出力されるものと同じ種類の信号である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

(AXI適用時のエラー応答回路の信号例)

図10は、AXI適用時のエラー応答回路の信号例を示す図である。図10でも、図2に示したエラー応答回路25-1内の信号例が示されている。他のエラー応答回路25-2～25-nでも同様の信号が用いられる。